



やあ! yaa!

URL:<http://tia21.or.jp/>

E-mail:tia@tia21.or.jp



▲熱心にパソコンに取り組む受講者

「在県外国人のためのパソコン講座」開講

TIAでは、日本語力不足による就職難の外国人をサポートする「集中日本語講座」での日本語支援に続き、職場で必要とされることが多いPCスキルの向上をサポートするパソコン講座を始めた。OSやOfficeは日本語を基礎言語とした最新版を使用し、一人でも多くの参加希望者のニーズに合うよう一週間に異なった曜日と時間帯で3コースを設け、各コースは、「入門」2回、「ワード」10回の合計12回（7月～9月）。パソコンは定員の10名分を用意し、受講者一人ひとりに指導が行き届くよう毎回2名のアドバイザーが担当している。

「入門」ではパソコンの基本操作からメモ帳やペイントの使い方を学び、「ワード」ではその基本操作から様々な機能を使った文書作成まで指導している。また、より幅広い分野でパソコンを活用できるように、インターネットの利用方法や画像の管理や簡単な加工方法についても授業に取り入れている。

2011年9月号

No.116

Autumn

- ◆やあ!クローズアップ 栃木県出身の青年海外協力隊員レポート(エチオピア)
- ◆とちぎへようこそ 栃木県国際交流員(中国) 景 婷さん(陝西省出身)
- ◆国際交流団体紹介 栃木県台湾友好会
- ◆とちぎに暮らして… 富江 ナルティーさん(インドネシア・ウォノギリ市出身)
- ◆JICA 情報局 青年海外協力隊・シニアボランティア秋募集説明会

「とちぎグローバルセミナー2011」

多くの県民に幅広い分野で国際理解を深めていただくことを目的に、今年で3回目となる「とちぎグローバルセミナー2011」が、7月9日(土)・10日(日)・23日(土)・24日(日)の計4日間、とちぎ国際交流センターで開催され、TIAを含む県内外11団体による11の特色あるセミナーが実施された。

9日(土)は、TIAとJICA地球ひろば主催の「新聞を活用したメディアリテラシー」、いづら国際文化交流会主催の「草原の国モンゴルまるかじりサロン by モンゴル留学生」、栃木県青年海外協力隊OB会主催の「世界の果てまでイッテキター！ソロモン&ベナン編」の3つのセミナー、10日(日)は、TIAとJICA地球ひろばの「どうなってるの？世界と日本」、栃木県産業労働観光部国際課主催の「欧米人は日本人とどう違う？」の2つのセミナー、23日(土)は、交流会「仲間」主催の「インドネシアの人々の暮らし 今日からあなたもお友達」、アムネスティ・インターナショナル宇都宮グループ主催の「非暴力でコミュニケーション」、グローバル・グループ主催の「民族音楽をたずねて」の3つのセミナー、24日(日)は、シャプラニールとちぎ架け橋の会主催の「バングラデシュの衣料工場働く女工たち」、開発教育ネットワーク主催の「あなたはチョコレート探偵団！」、とちぎYMCA主催の「あなたはこんなときどうしますか？」の3つのセミナー。小学生から大人まで合計266名が参加し、参加者は普段学べないような内容に、熱心に耳を傾けていた。



▲「新聞を活用したメディアリテラシー」で新聞の読み方を熱心に教えてくれる講師の関根文夫氏

「新規留学生のためのガイダンス開催」

栃木県の大学などに入学した留学1年目の学生を対象とした、「新規留学生のためのガイダンス・懇親ティーパーティー」を5月28日(土)とちぎ国際交流センターで開催し、8大学59名の留学生が集まった。ガイダンスでは、県、TIA、栃木県地域留学生推進協議会の事業紹介の後、日本での留学生生活のアドバイス等を行なうパネルディスカッションを行い、先輩留学生から日本語上達の方法や地域交流に関するアドバイスを受け、後半は、他大学の学生との親交を深める懇親ティーパーティーを行い、会場では日本舞踊の披露や参加した留学生やパネリストが日本や母国の歌を披露するなどして大いに盛り上がった。



▲パネルディスカッションを行なう先輩留学生

ようこそとちぎへ～welcome to Tochigi～

平成23年度栃木県国際交流員(中国) 景 婷さん(27歳) 陝西省宝鶏市出身



西安外国語大学卒業後、岡山大学大学院でアジア言語文化論を専攻。今年3月卒業後、再来日。

この8月から中国の国際交流員として栃木県庁国際課に勤務。現在、主に中国関係の翻訳、通訳などの業務を行っている。

中学校で英語に触れて以来、言葉を勉強するのが好きになり、どうせなら違う言葉を勉強したいと思い、高校の先輩がアモイ大学で日本語を専攻した影響を受けたのと、日本のアニメに興味があり、小さい頃はドラえもんやちびまる子ちゃんをよく見ていたことがきっかけで、大学で日本語を学んだという。大学時代は、日本の大学に留学したかったが、チャンスに恵まれなかったため、卒業後、希望のアジア言語文化論コースがある岡山大学大学院に留学。しかし、大学院の勉強は難しく、担当教授とうまくコミュニケーションがとれなくて、苦労したという。

今回の来日に関しては、東北で大震災があった後なので、少し不安もあったが、岡山の友人や大学の先生から日本の情報を取得し、安心して栃木県へ来たという。第一印象は、栃木県の人には優しいと感じた。宇都宮は坂が多くて、道路が狭いので街がコンパクトにまとまっているといったイメージを持った。来た時期が8月なので、蒸し暑くて、雨が降っても涼しくならないので、夏は少し過ごしづらいと感じたとも話す。今回、日本に来て、大震災後、電力不足のため、あちらこちらで節電がされていることには感動したそうだ。

前にいた岡山では、地区ごとにいろいろな母国紹介等の活動を行ってきた。今回も栃木の小、中学校で母国の文化紹介や大学時代住んでいた西安、故郷の宝鶏市を紹介したい。また、趣味が旅行なので、東北を旅行して、日本の文化を学んだり、震災後の日本の生の情報を母国の人たちに伝えたい。料理も得意なので、機会があれば、中国料理教室を開いてみたいと抱負を語ってくれた。



▲宝鶏市にある「通天河」で家族と

やあ！クローズアップ

栃木県出身の青年海外協力隊員レポート

今回の「やあ！クローズアップ」では、昨年9月からエチオピアの高校に体育教師として派遣されている上三川町出身の稲見隆典さんから、現地の様子を紹介するレポートが届きましたので、活動する写真と稲見さんの実際の生活の様子をご紹介します。

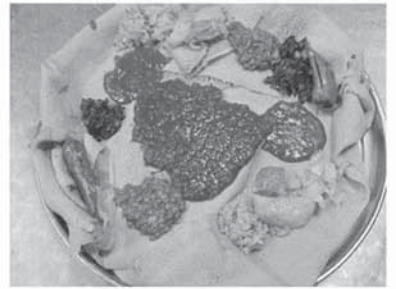
みなさんこんにちは。さっそくですがエチオピアと聞いて何をイメージしますか？私の場合エチオピアに派遣される前は、電気水道もなく、よくテレビで見るジャングルのようなところで生活するものと勝手にイメージしていました。しかし、こちらに来てみてビックリ。首都のアジスアベバには大きな建物がたくさん並んでおり、欲しいものはたいてい買い揃えることが

できます。私が生まれ育った田んぼだらけの上三川より都会なのではないでしょうか。



▲エチオピアの首都アジスアベバ

エチオピア人の主食はインジェラというものです。ちょっと酸味のあるパンケーキのようなものを、ワットと呼ばれるおかずと一緒に包んで食べます。食べる際にはお箸などは使わずに、みんな手で器用に食べています。



▲エチオピアの一般的な食べ物

私は現在高校の体育教員として活動しています。道具も満足に揃ってなく限られているなかで、1クラス約60人の生徒達をコントロールすることは簡単なことではありません。ですから失敗の連続ですが、毎日工夫しながら楽しく活動させていただいております。運動能力の向上はもちろん、スポーツを通して相手を思いやる気持ち、時間や規律などを守ることの大切さを伝えていけるようこれからも活動を頑張っていきます。



▲稲見さんの授業の様子

国際交流団体紹介

「栃木県台湾友好会」

～設立13周年を迎えて～

私たちは、台湾から来た者で構成された民間団体です。今や栃木県は第二のふるさとであり、この地で毎日元気に暮らしています。

1999年9月21日に、台湾で大地震が起き、多くの尊い命が奪われました。この地震をきっかけに県内在住の方々と手を組み、ネットワークを作ろうということになり、多くの台湾人が集まり、互いに力や知恵を出し合って、大地震の支援の目的で「栃木県台湾友好会」を設立しました。

おかげさまで、本年度、栃木県台湾友好会は、13周年を迎えます。12年前、台湾は、地震で多くの被害が出た時、多くの日本人の友人から、支援、協力を得て、早急に故郷の災害復興ができました。

栃木県台湾友好会は設立主旨のもと、日台友好交流を深めるために、県内在住の私たちが、栃木県の一県民として、できる限りの交流協力を行っています。会員の協力を得て、県、市で行われる様々な国際交



▲「宮っこフェスタ」での子どもたちによる台湾茶藝披露

流イベントに参加し、更に台湾友好会が開催する中国語講座、台湾茶藝、手芸教室、日台料理教室などをはじめ、地域の方々との交流を目的として、多くの活動を行なっています。また、会として老人ホー

ム等の施設に親善地域の方々との交流を目的として、多くの活動を行っています。また、会として老人ホーム等の施設に親善訪問したり、盲導犬の募金箱を設置するなど私たちのできることを



▲「レッツアミーゴ」で台湾文化紹介

私たちにに行き、少しでもみなさまの力になり、お役にたち、同時に私達も成長していきたいと思っております。

現在、栃木県台湾友好会の会員は、百数十名の方が登録されていますが、会員の大部分は、日本の方々です。これまでの12年間、会員の協力もあり、栃木県台湾友好会は元気に続けていくことができました。会員はじめ、多くの方々のおかげだと思っております。ここで改めて心より感謝申し上げます。台湾友好会は多くの友人に恵まれました。これが、私たちの最大の幸せだと感じております。

経済不況、東日本大震災の復興が叫ばれる現在、私たち栃木県台湾友好会が今こそ支援する最大の時だと思います。一日も早く、一刻も早く、安堵の日が迎えられるよう、いろいろな面で支援していくつもりです。会員とともにこれからも各種の活動を通し、歩んでまいります。今後とも多くの日本の皆さまのご支援、ご協力よろしく申し上げます。

(文：林美雲)

とちぎに暮らして… Living In Tochigi



冨江 ナルティーさん

(インドネシア・ウォノギリ市出身、宇都宮市在住) 1999年9月に結婚して来日。現在、2人のお子さんと日本人のご主人と暮らしている。

—ナルティーさんはじめまして。ご主人とはどのようにして知り合ったのですか？

主人がインドネシアに仕事で駐在しているときに知り合いました。主人は7ヶ月、インドネシアのジャカルタで仕事していました。私は、その当時、主人が住んでいた宿舎で調理のアシスタントをしていて、主に日本料理を作っていました。主人とは毎日話しているうちに、仲良くなり、なんとなく結婚しました(笑)。

—日本語はどこで学んだのですか？

日本語は日本に来てから学びました。最初は、主人の実家のある大阪で主人のお母さんと毎日話したりしました。その後、主人が宇都宮に転勤になり、宇都宮市内の日本語教室で学び始め、現在も毎週学んでいて8年ほどになります。最初は辞書をひきながら勉強していました。今でも漢字はやはり難しいですね。

—でも日本語お上手ですよ。日本に来て、困ったことはありますか。

日本に来て困ったのは、やはり日本語ですね。最初は本当に困りました。子どもが生まれたとき、子どもが風邪を引き、主人が仕事でいなくて自分が医者に連れて行かなければならなくて、問診表を書くとき、漢字ばかりで何が書いてあるかわからず、本当に困りました。あと私はイスラム教徒なので、食べ物の問題ですね。豚肉が食べられないので、どの食品に豚肉が入っているか見分けるのに苦労しますね。最近、ゼラチンも豚の脂でできていると知りました。

—これから日本でしたいことはありますか。

先日はインドネシアの交流を行うグループのイベントにも参加したのですが、普段使わないインドネシア語を話したりして、リラックスできて、楽しかったです。7月にはTIAで行われたグローバルセミナーにも講師として、参加しました。今回のセミナーでは、インドネシア料理を教えて、私の故郷のジャワ中部のウォノギリ市を紹介してジャワ語を少し教えました。今後も機会があれば、ぜひやりたいと思っています。



▲ジョクジャカルタの王朝宮殿前で家族と

JICA 情報局

JICA ボランティア秋募集
【募集期間：10/1～11/7】

これまで皆さんが日本で経験してきたことを、海外に舞台を移して JICA ボランティアとして生かしてみませんか？

開発途上国の人びとのために、自分の持っている技術や知識を生かしてみたい！ そうした意欲を持っている方を派遣するのが JICA のボランティア事業です。

私たちができることで、世界の人たちが明日への希望をもてたら。それはきっと、あなたの心も満たす素晴らしい経験になるはずです。

～行ってみよう！聞いてみよう～
『募集説明会&体験談 in とちぎ』
入場無料！予約不要！

【日時】10月15日(土)
【会場】とちぎ国際交流センター



青年海外協力隊 & 日系社会青年ボランティア (20歳～39歳)	シニア海外ボランティア & 日系社会シニアボランティア (40歳～69歳)
14:00～16:00	10:30～12:30

【問合せ】TIA 内 JICA 栃木デスク 028-621-0777

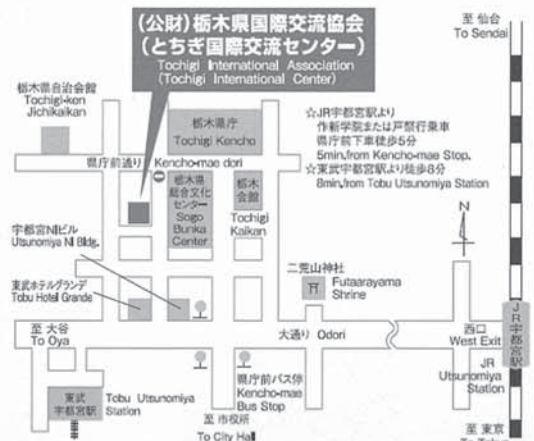
Tochigi International Festival 2011
とちぎインターナショナルフェスティバル2011
2011年 10月1日(土) 10:00～16:00
わくわくグランディ科学ランド
Date October 1 (Sat) 10:00-16:00
Place WAKU WAKU Grandy Science Land

TIA バナー広告募集中！

バナー広告を掲載してみませんか？詳しくは下記をクリック！

<http://tia21.or.jp/banner.html>

TIA ご案内図



編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会
住 所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
T E L 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
F A X 028-621-0951
業 務 時 間 8:30～17:15
休 館 日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日